

2015年1月1日～2022年6月30日の間に 川崎医科大学附属病院脳卒中科に「急性期脳梗塞又は 一過性脳虚血発作(TIA)」でご入院された方及びご家族の方へ

「脳卒中急性期病棟における発作性心房細動の発見法」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者

川崎医科大学脳卒中医学 教授 八木田佳樹

研究分担者

川崎医科大学脳卒中医学	准教授	大山 直紀
川崎医科大学脳卒中医学	講師	岡崎 知子
川崎医科大学脳卒中医学	講師	岩本 高典
川崎医科大学脳卒中医学	講師	松崎 丞
川崎医科大学脳卒中医学	臨床助教	木本 和希
川崎医科大学脳卒中医学	臨床助教	道勇 慧到
川崎医科大学脳卒中医学	臨床助教	三浦 人詩

1. 研究の概要

心房細動は心原性脳塞栓症の主な原因ですが、発作性心房細動は診断困難な場合が少なくありません。発作性心房細動が診断できない場合、抗凝固療法が導入されず、脳梗塞再発につながります。現在、脳卒中急性期病棟において発作性心房細動を診断するにはどのような検査が有用であるかは明らかになっていません。そこで脳卒中急性期入院中、発作性心房細動新規診断の契機となった検査を明らかにする目的で本研究を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年1月1日～2022年6月30日の間に川崎医科大学附属病院脳卒中科に入院し「急性期脳梗塞または一過性脳虚血発作(TIA)」と診断された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

3) 研究方法

2015年1月1日～2022年6月30日の間に「急性期脳梗塞または一過性脳虚血発作(TIA)」と診断され、当科に入院された患者さんの診療情報をもとに対象の患者さんのデータを選び、発作性心房細動新規診断の契機となった検査を検索し、検討を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、検査データ、退院後の転帰（脳卒中の再発の有無や生死）等

5)情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学脳卒中医学教室実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 脳卒中医学

氏名：八木田 佳樹

電話：086-462-1111 内線 27505（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-464-1128

E-mail：yyagita@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。